

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

日本人女性として

最近のお葬式では、お通夜の方が告別式より参列者の人数が多いと聞きました。男女共に働いている社会となって、昼間に執り行われる告別式にはなかなか伺えないというのが現実なのではないでしょうか。勿論、故人と親しかった方は両日とも伺われると思います。通夜の日やお葬式の日のお着物について、誰も着物を着なくなるのではという危機感があります。結婚式もお葬式も大事な式で、節目なので着物は年齢を重ねるほど奥ゆかしく美しく見えるものです。

これからの和とくポイント

どんな着物を着るか

洋装の場合は黒い服で両日とも同じなのが一般的になっていますが、着物は現在フォーマルな装いとして用いられるようになり、お通夜に着るとすれば紋付きの無地（江戸小紋）がもっとも相応しいでしょう。紋付きの着物は正装ですから故人や遺族の方に礼を尽くすために着ます。洋服の場合に黒いスーツや服を着るのと同じ考えです。

喪服はごく身内の時にだけ着るものではありません。仏事の時の礼装なので、もう少し着る機会を増やし、例えばご主人様の関係、友人の為、尊敬していた方の葬儀など亡くなられた方に、日本人女性として着物で礼をつくしてみたいはかがでしょう。

無地（江戸小紋）の紋付きを作るときは、祝儀、不祝儀の両方に着用できるように考えるのですが、これがなかなか色選びに難しいものです。若いほど両方に着られる色が難しく、祝儀に合わせれば綺麗で不祝儀には華やか過ぎて通夜の席には向かなくなってしまいます。

かなり押さえた色が望ましいので、むしろ年齢に関係なく地味な色の紋付きが1枚あれば法事にも活用できますし、一生着る地味目の紋付きを持っているのも便利でしょう。

喪に関する着物としての地味な色合いの着物でも帯次第で勿論、祝儀の時でも使用できます。江戸小紋は、格の高い略式の礼装でありますから、お洒落に着るときに帯で粋にもシックにもなるのが楽しく着物好きな方なら頷いて下さるでしょう。

江戸小紋着尺
「均通し菖蒲皮」



加賀小紋着尺
「松葉に小花」



江戸小紋着尺
「御召十」



江戸小紋着尺
「極型梨の切り口」



極絞

万筋

今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

今月の一言
花は無心にして
蝶を招く



ありがとう

きくちいまコラム



3月の催事・イベント

- ◎催事
とき：25日（金）～28（月）
- ◎ポーセラーツ教室
とき：17日（木）
- ◎月1キャンペーン：乾燥剤、多通紙、キモノハンガー！
期間：11（金）～21（月）
- ※各詳細のお問い合わせはお店まで

さくらきもの学院

- ◎修了祝賀パーティー
とき：3月6日（日）
課程の修了 おめでとうございます♪
- ◎全国講師会技術編
とき：3月24日（木）
会場：京都私学会館



By: お藤